



かしましろう 鹿島小 2023



令和5年度 じゅうてんもくひょう 重点目標「すすんで学び よく考え みとあ 認め合おう」

鑑賞教室がありました

過日、1～3年生対象の鑑賞教室がゆめはっとで行われました。劇団トマト座さんによる「ミクロの三銃士」という演劇でした。主人公は転校してきた学校でなじみずに不登校になった男の子。とあるきっかけで昆虫の世界に迷い込み、冒険を重ねる中で「仲間の昆虫たち」から頼られたり認められたりする経験を通して自信を取り戻し、再登校への活路を見いだしていくというお話でした。（説明が長くなりました）迫真の演技と相まって、とても感動的なステージでした。子どもたちも「ちょっと悲しかったけど面白かった」「じ〜っと見ていて楽しかった」という感想が多く見られました。心を豊かにする貴重な学習機会でした。

そこで思ったこと・・・

人からほめられたり認められたりすると、大人でも嬉しいですね。子どもなら尚更だと思いました。そんな時に、先日読んだ本の内容を思い出しました。

「心のコップ」を満たすことが大切です。子どもの心のコップが満たされれば、友達とのいざこざや、ちょっとした困りごとならば自力で乗り越えていけるという内容でした。

では、どうすれば「心のコップ」は満たされるのでしょうか？気になりますよね。以下に。

○保護者（親）が、本気で毎日子どもの良い行動を褒める。

○毎日、小さな良い行い（行動）を3つ見付け、しっかりと価値付けをする。

「価値付け」をするというのが大事なんだそうです。「価値付け」といっても難しいことはありません。以下に例を紹介します。

「〇〇（お子さんの名前）が、玄関のくつを揃えてくれたので、□□（保護者：例パパ、ママ、じいじ、ばあば、おじさん、おばさん等）は、とってもうれしい（とっても助かる）。」

「〇〇の元気な笑顔を見られて、□□は幸せだよ。」など。

お子さんの良い行いを、言葉で本人へ返して認知させることで、少しずつ少しずつ「心のコップ」は満たされていくのだそうです。

劇中の主人公が自信を取り戻していった時も、同じ事が心の中で起こっていたと思いました。

『気づき、考え、実行する』すてきな姿に感動

残暑の中すくすくと(?)育った雑草が校庭に増えています。ある朝、校庭で自主的に草むしりをする6年生の姿が見られました。自分たちの学校を少しでもきれいに使いやすくしようと、朝の短い時間に一生懸命草むしりをしてくれる姿に感動しました。さすが6年生、ありがとうございました。

